

都市計画課 予算書P123

目的・ねらい

圏央道や西幹線道路等の整備効果により、首都圏へのアクセスが飛躍的に向上し、産業需要の優位性が高まることが期待されるが、水海道都市計画区域に存する4つの工業団地は空きが無い状況であり、本市における新たな産業用地の創出は重大かつ喫緊の課題である。そのため、開発整備における課題の整理や開発可能区域等についての検討を行う。

なお、本調査においては、これまでに産業集積が検討された地区や、大生郷工業団地周辺等、既存の工業団地周辺に着目して候補地の抽出を行うものとする。

内容

産業拠点候補地について、今後の検討に向けた基礎データを収集するため、以下の事項を調査・検討する。

(1)産業拠点候補地の設定

上位計画の他、交通条件や産業集積の状況等を考慮し、本調査で比較検討を行う産業拠点候補地の抽出を行う。設定する候補地については、これまでの経緯や既存工業団地周辺に着目しつつ、3箇所程度を想定する。

(2)産業拠点候補地の基礎情報の整理

産業拠点候補地について、提供する既存資料及び現地調査をもとに、各候補地の法規制・土地利用・排水条件・交通条件・権利者情報・上位計画との整合性や、想定される調整事項及びその他必要な事項について、基礎データの収集・整理を行った上で、候補地区毎に必要な情報の一元化を図るため「候補地概況図」・「比較検討表(候補地カルテ)」を作成する。

(3)優先的に検討する産業拠点候補地の選定

産業拠点候補地の基礎情報の整理をもとに、庁内関係課との協議により優先的に検討する産業拠点候補地の選定を行う。